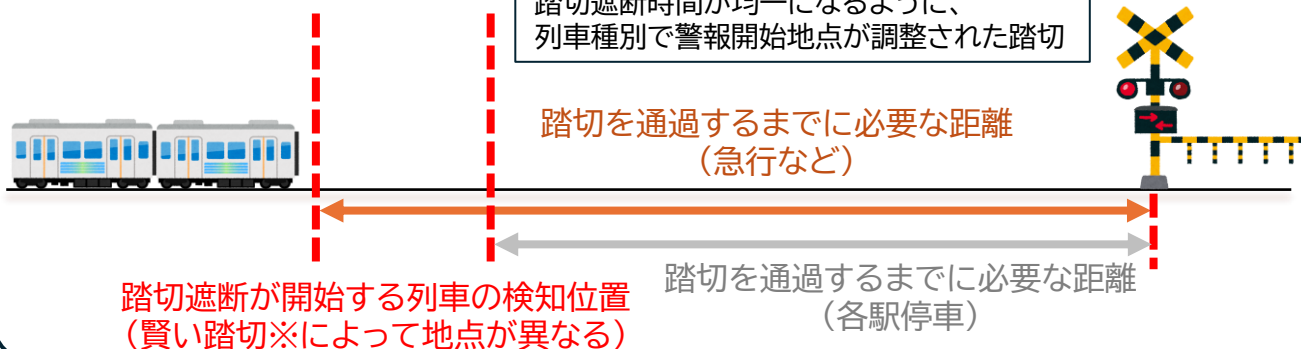


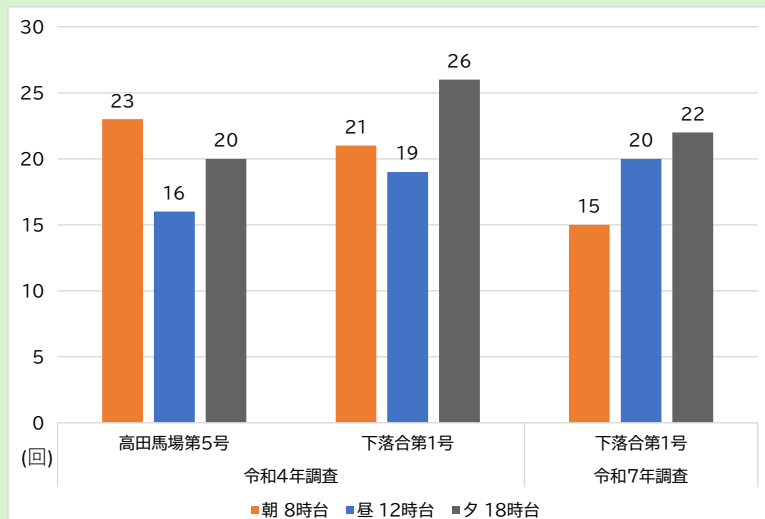
踏切開放回数・平均踏切開放時間に関する調査結果

踏切遮断のしくみ



- ・踏切遮断が開始する列車の検知位置は、踏切から離れた地点に設定されています。
- ・踏切遮断の開始(踏切警報機の鳴り始め)から、踏切を列車が通過し終える(踏切警報機の鳴り終わり)までを「踏切遮断時間」といいます。
- ・この踏切遮断時間に対し、踏切遮断が終了(踏切警報機の鳴り終わり)し、再び踏切遮断が開始(踏切警報機の鳴り始め)されるまでを「踏切開放時間」と表しています。

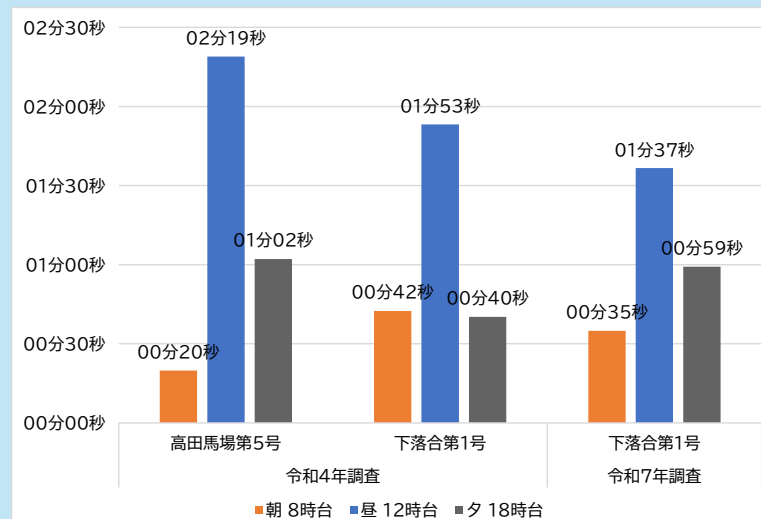
1時間当たりの踏切開放回数



- ・列車本数が多い朝・夕ピーク時には、高田馬場第5号踏切・下落合第1号踏切において20回前後の踏切開放がみられます。

注) 令和4年と令和7年で運行本数は変わっていませんが、令和7年調査の下落合第1号踏切では、朝ピーク時の開放回数は15回となります。
これは調査時において、朝方の列車の遅延によるダイヤの乱れの影響で遮断時間が延び、踏切開放回数が減少したと考えられます。

1回当たりの平均踏切開放時間



- ・平均開放時間は日中は2分前後であるのに対し、朝・夕ピーク時は概ね1分未満と短い状況にあります。
- ・朝ピーク時の平均開放時間は、高田馬場第5号踏切で20秒となり、下落合第1号踏切では40秒前後となります。